

【学校教育目標】故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成



養徳の森

令和7年7月17日(木)
学校だより 第4号
玉陵中学校 校長 志水 宏次

【スローガン】輝け、玉陵：自律そして玉陵を誇れる生徒に

地域（くまもと県北病院）との交流をおして

○6月19日(木) 職業講話

2年生が、くまもと県北病院で、3人の看護師さんと看護部長さんから講話をしていただきました。それぞれの皆さんの経験談を、興味深く、真剣に聞いていました。仕事のやりがいやつらいこと等の質問にも答えていただいた後、施設も見学させていただき、日頃見ることでできない、貴重な経験ができました。



○6月28日(土) 授業参観

この日は、くまもと県北病院の医師の大村先生に「中学生の心と体」という演題で講演をしていただきました。起立性調節障害など、中学生の時期に多い病気について、生徒と保護者が一緒に理解を深めることができました。

7月3日(水)は、スクールボランティアで2年生がくまもと県北病院で清掃活動を行い、18日(金)

にはフラワープロジェクトで玉陵小・中学校で育てた花を小学生が届けます。これからも、地域と一緒に子供たちの成長を見守っていければと思います。



更に成長！集団宿泊教室

7月2日(水)から2日間、阿蘇で1年生が、集団宿泊教室を実施しました。「集団行動について学び、阿蘇の自然の中で、きずなを深めよう」という集団宿泊教室のテーマのもと、寝食を共にしながら、様々な活動を体験しました。時間を守ること、ルールを守ることなどの大切さや仲間と協力することの大切さなどたくさんのことを学んだ2日間でした。



校内人権集会を行いました。

7月8日(火)、校内人権集会を実施しました。当日は、玉陵小の6年生のみなさんもリモートで参加しました。事前に各学級で人権学習を行った後、学級の人権宣言づくりや人権標語のづくりに取り組んだうえで集会を行いました。集会は、6年生を含め各学級の代表者がいじめや差別についての考えを発表し、それに対する返しの言葉を行い、みんなの思いがちな貴重な人権学習となりました。



いよいよ夏休み

4月の始業式から早いもので約4か月が過ぎました。子供たちは体育大会等の行事などをおしてたくさんのことを学び、とても成長している姿がうかがえます。いよいよ夏休みに入りますが、子供たちには、学習や部活動など、計画をしっかり立てて行動し、有意義な夏休みにしてほしいと思います。夏休み後、子供たちが全員笑顔で元気に登校して来るのを楽しみに待っています。